

(社) 日本原子力学会  
第75回倫理委員会議事要旨

日 時 平成25年12月12日(木) 13:30~17:30  
場 所 日本原子力学会 事務局会議室  
出席者 大場委員長、宮越副委員長、作田幹事、内山委員、北村委員、中野委員、  
名倉委員、林委員  
奈良林理事(テレビ会議による参加) (9名:委員名簿順)  
宇奈手氏、橘氏(オブザーバー)

配布資料

- 資料75-1 第74回倫理委員会議事要旨(案)
- 資料75-2 第17回倫理研究会当日の役割分担及び事前準備等について
- 資料75-3(1) 技術者・研究者倫理研修の実施計画について
- 資料75-3(2) 平成25年度 技術者・研究者倫理教育日程(案)
- 資料75-3(3) 機構改革における安全関係の取組について
- 資料75-4 安全文化に関する要求事項と取組概要
- 資料75-5(1) 原子力学会倫理規程の見直し作業の概要と本日の検討事項について
- 資料75-5(2) 日本原子力学会規程前文改定案
- 資料75-5(3) 行動の手引(前文)の改訂(案)
- 資料75-5(4) 倫理規程見直しの論点整理
- 資料75-5(5) 倫理憲章(改定案R10)
- 資料75-5(6) 行動の手引作成ワークシート(改訂12)
- 資料75-5(7) 解説(R3)

議事

1. 資料75-1により、前回議事要旨(案)を確認し、4項倫理規程の改訂案に関して「行動の手引の前文には、」の「行動の手引の」を削除することで了承された。
2. 資料75-2により、第17回倫理研究会当日の役割分担及び事前準備等について、内山委員から紹介があった。役割分担の再確認とともに、各委員から研究会の案内を関係箇所へ周知することとした。閉会のあいさつは、作田幹事が担当することとした。
3. 資料75-3により、JAEA殿の技術者・研究者倫理研修の実施計画について、林委員から説明があった。研修の実施効果をより向上させる工夫については更に検討を進めていくこととした。
4. 資料75-4により、原子力業界における安全文化に関する要求事項と取組概要について、宇奈手氏(オブザーバー)から紹介があった。
5. 資料75-5(1)~(7)により倫理規程改訂について、大場委員長及び宮越副委員長から説明があった。憲章1において、人類の生存の質の向上に「地球環境の保全」を追記することとした。規程改訂案の骨格はほぼできたが、細部についてはまだ十分でないところが

あるので、別途、宮越副委員長から質問メールを発信するので、全委員は対応することとした。

#### 6. その他

- (1) 小林委員より職場異動のため退任の申し出があり、了承された。新たに2名の倫理委員への立候補者があったため、作田幹事から立候補願いの様式を各立候補者に送付することとした。
  - (2) 倫理委員会への理事の出席は重要であるので、理事不在になるおそれがあるときには、作田幹事から再周知などの必要な手続きをとることとした。
  - (3) 2014年春の年会企画セッションでの講演内容について、奈良林理事から紹介があった。講演予稿原稿については、大場委員長が奈良林理事の原稿も含めて学会事務局に来年早々に提出することとした。
7. 次回倫理委員会は、平成26年1月15日(水)13:30～(学会事務局)とすることとした。

以上